

＜記入の仕方＞

- 1 単元（題材）名を記入する。
- 2 教科の単元（題材）の目標を記入する。
- 3 個別の目標を記入する。
 - ・別表「目標例と支援の手立て例」の目標例を参考に、児童の実態に応じて個別の目標を記入する。
 - ※ 目標を設定するときは、条件（どのような支援をすると）や目標の達成基準（どの程度、どれくらいできるとよいかなど）を盛り込むことが大切である。
- 4 支援の手立てを記入する。
 - ・別表「目標例と支援の手立て例」の支援の手立て例を参考に、児童の実態に応じて個別の支援を記入する。
 - ※ 「個別の目標の中に含まれる条件」に対応させ支援の手立てを考えていく。支援の手立てについて具体的（誰が、どのように）に記入する。
- 5 単元（題材）又は学期終了後に評価する。

小学校用

教育課程（B表）

＜様式2－2＞

（ 2 ）年 氏名（ B ）

体育科 1 学期

単元(題材)名 【体づくり運動】 体ほぐしの運動		
単元 (題材)の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> 心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をすることができる。 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫することができる。 	
個別の目標	支援の手立て	評価
「伝承遊び（だるまさんがころんだ）」で、教師が掛けた言葉を聞いて、「鬼が振り向いたときは止まる」というきまりを最後まで守り運動する。	鬼が振り向いたときに、教師が本児のそばで「止まる」と言葉を掛ける。	「だるまさんがころんだ」では、教師が掛けた言葉を聞いて、「止まる」というきまりを最後まで守って運動した。
連絡 事項		

単元(題材)名 【体づくり運動】 多様な動きをつくる運動遊び		
単元 (題材)の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> 体のバランスをとったり移動をしたりするとともに、用具の操作などを行うことができる。 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫することができる。 	
個別の目標	支援の手立て	評価
柔らかいボールを使い、友達とボールをはさんで5メートル以上移動する。	空気を抜いた柔らかいボールを準備する。	腹や背中でボールをはさんで5メートル以上進んでいた。頭の横ではさむときは、途中でボールを落とすことがあった。
連絡 事項		

単元(題材)名		【器械・器具を使つての運動遊び】鉄棒を使った運動遊び	
単元 (題材)の 目 標		・ 支持しての上がり下がり、ぶら下がりや易しい回転をすることができる。 ・ 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができる。 ・ 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫することができる。	
個別の目標		支援の手立て	評価
低鉄棒の跳び上がりで教師に持ち上げてもらい、5秒以上一人で支持する。		教師が鉄棒に本児を持ち上げる。	低鉄棒で教師に持ち上げてもらい、自分で5秒程度支持した。
低鉄棒で教師の援助を受けて前回り下りをする。		教師が本児の背中を軽く押し、回ることができるように援助する。	低鉄棒で教師の援助を受けて前回り下りをした。
連絡事項			

<目標例と支援の手立て例>

<体育>

目標：適切な運動の経験を通して、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む。

知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の小学部の体育の内容	目標例	支援の手立て例
【内容】基本的な運動(第1段階)		
・教師と一緒に、楽しく手足を動かしたり、歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする。	・教師と一緒に周囲のスピードに合わせて、設定された距離を歩く。 ・教師に支えられながら、片足立ちを5秒間行う。 ・校庭にあるタイヤを使って、教師と一緒に足を前後左右に開く。	・歩く距離を事前に伝える。 ・教師が言葉掛けをしながら本児の歩く速さを確認する。 ・本児がバランスを取りやすい高さに手を差し出す。 ・教師が本児の片手を持つ。
【内容】基本的な運動(第2段階)		
・歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動に慣れる。	・自分で着地の目印を見て、両足で跳びながら最後まで進む。 ・友達の動きを見て、大股、小股、かかと、つま先での歩き方で設定された距離を歩く。 ・折り返しリレーで、補助線を参考にしながら走って次の人にバトンを渡す。	・目印としてフープなどの輪を並べる。 ・友達の動きを見せた後、各運動をさせる。 ・走る所に線を引く。 ・持ちやすいバトンを準備する。
【内容】基本的な運動(第3段階)		
・歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしているいろいろな方法で行う。	・30m走で、教師のタイムの読み上げを聞きながら、設定したタイム内に一人で走る。 ・緩やかな角度のS字やジグザグのコースに沿ってゴールまで走り切る。 ・色ロープを手掛かりに、両足跳びと片足跳びを混ぜながら10メートル進む。	・タイムを1秒ごとに読み上げる。 ・緩やかな角度の線を準備する。 ・両足着地と片足着地の違いを色ロープで示す。
【内容】運動遊び(第1段階)		
いろいろな器械・器具・用具を使った遊び、表現遊び、水遊びなどを楽しむ行う。	・教師の手を持ちながら2段の跳び箱を上がったり下りたりする。 ・教師の手を持ちながら高さが低い平均台の上を交互に足を出して最後まで歩く。 ・教師の動きを見て、音楽を聴きながら跳んだりはねたりする。 ・水遊びで、教師がそばに付いて友達と水の掛け合いをする。	・本児がバランスをとりやすい高さに手を差し出す。 ・本児がバランスをとりやすい高さに手を差し出す。 ・歩幅の目印として、平均台の上に30cm間隔にお手玉を置く。 ・「跳ぶ」、「はねる」をするとき、区別しやすいように、教師がその動きに合わせた言葉を掛けながら見本を示す。 ・水に対する不安があるので、水が掛かる量を調節できるように教師がそばに付いておく。
【内容】いろいろな運動(第2段階)		
・いろいろな器械・器具・用具を使った運動、表現運動、水の中での運動などに親しむ。	・目印を見ながら2段の跳び箱に両手を着いてまたぎ乗りやまたぎ下りをする。 ・マット運動で、目印を見て前転を一回し、立ち上がる。 ・動物模倣で、動物の写真を見ながら特徴を捉えてまねをする。 ・水遊びで、友達を見ながら膝までの深さの水の中を合図に合わせて歩いたり駆け足をしたりする。	・跳び箱の手を着く所に手形の目印を置く。 ・マットの手を着く所に手形の目印を置く。 ・動物の写真を準備する。 ・事前に自分の学級で動物の映像や画像を見せておく。 ・友達が見える位置で活動させる。
【内容】いろいろな運動(第3段階)		
・いろいろな器械・器具・用具を使った運動、表現運動、水の中での運動などをする。	・低鉄棒で教師に支えてもらいながら、腹部支持ぶら下がりの体勢から前回り下りをする。 ・カラーコーンを手掛かりに、ボールを蹴りながらジグザグにゴールまで進む。 ・教師と一緒に音楽に合わせて上体のみの動きを最後まで行う。 ・プールで、教師と一緒に水の中にある基石を3個以上拾う。	・腹部支持ぶら下がりの体勢まで、教師が支える。 ・カラーコーンを2メートル間隔に置く。 ・カラーコーンの片方の側面だけに色画用紙を貼る。 ・教師が言葉を掛けながら次の動きの合図をする。 ・教師が本児の手を持って支持する。

【内容】きまり(第1段階)		
・簡単な合図や指示に従って、楽しく運動する。	・太鼓の合図を聞いて、教師と一緒に走ったり、跳んだり、転がったりの動きを最後までする。	・教師がそばで見本を示す。
【内容】きまり・安全(第2段階)		
・簡単なきまりを守り、友達とともに安全に運動する。	・集合の合図とともに目印を見て、集合位置に周囲の友達と同じ速さで集合する。	・集合する場所に目印を置く。
	・跳び箱を跳ぶときに、教師の指示を聞いて最後まで順番を守って並ぶ。	・数名の児童に言葉を掛けることを指示しておく。
		・誰の後ろに並ぶのか個別に伝えておく。
【内容】きまり・安全(第3段階)		
・いろいろな決まりを守り、友達と協力して安全に運動する。	・ドッジボールで、教師と個別できまりを確認し、きまりを最後まで守る。	・最初は外野からさせる。
	・リレーで事前に競技をする際のマナーを確認し、勝敗の結果を受け入れる言動をする。	・本児がボールを投げる前に、教師がきまりを言葉にして確認させる。
		・事前に勝ったとき、負けたときの態度や言葉について確認させる。
		・望ましい態度が取れたときは、すぐに賞賛する。